

一 般 質 問 一 覧 表

平成25年第4回高梁市議会（定例）

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	1	16 番 川 上 博 司	<p>1 がん対策について</p> <p>(1) 血液検査でピロリ菌感染の有無と胃粘膜の委縮度を調べることで胃がんになりやすいかどうかを確認する「胃がんリスク検診」を市の検診に導入すべきではないか</p> <p>(2) 子宮頸がん予防ワクチン接種について、「接種は積極的には勧めしないワクチン」とされているが、今後どのように対応していくのか</p> <p>2 いじめ対策について</p> <p>(1) 「いじめ防止対策推進法」は、自治体に地域いじめ防止基本方針の策定を、また学校には学校の実情に応じた基本的な方針の策定を求めている。教育委員会としてどのように対応していくのか</p> <p>(2) 携帯電話やメールを使ったいじめも急増している。「いじめ防止対策推進法」では、インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進についても明文化されているが、教育委員会としてどのように取り組んでいくのか</p> <p>3 空き家対策について</p> <p>(1) 活用できる空き家は調査しているようだが、老朽危険家屋など活用できない家屋は調査していないのか</p> <p>(2) 適正管理を促す空き家対策条例（仮称）を制定すべきではないか</p>
2	4	1 番 石 井 聡 美	<p>1 高梁市の交通安全対策について</p> <p>(1) 高梁市における交通事故の発生状況について問う</p> <p>(2) 交通事故が頻発している国道沿いを歩行者や自転車が安心して通行できるよう、さらなる整備を国や県に求めていくべきではないか</p> <p>2 駅前周辺整備について</p> <p>(1) 複合施設のイメージ図が提出されたが、これをたたき台として、もっと市民の意見を反映させた施設にすべきではないか</p> <p>3 耕作放棄地の有効活用について</p> <p>(1) 高梁市の耕作放棄地は、2010年の農林業センサスでは897ヘクタールで、農地の約30%となっている。現状の数値はどうなっているのか</p> <p>(2) 岡山県内の市町村の中でも、高梁市は耕作放棄地の割合が高い。原因をどう認識し、対策をとっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	4	1 番 石 井 聡 美	<p>(3) 高梁市の耕作放棄地のうち約半分は土地持ち非農家が所有している。高梁市では、これらの土地持ち非農家にどういったアプローチを行っているのか</p> <p>(4) 成果を出すには、専門のチームでしっかりしたロードマップを組んだ対策をとるべきではないか</p> <p>4 定住対策について</p> <p>(1) 「住みたいまち高梁」創造ネットワークが十分に機能していないと思われるが、高梁市は現在どういった形でかかわっているのか</p> <p>(2) 空き家を借家として活用するために障害となっている理由を調査して、積極的にその解決に努めるべきではないか</p> <p>5 廃校となった校舎の利活用について</p> <p>(1) 高梁市での利活用状況はどうなっているか</p> <p>(2) 文部科学省が「みんなの廃校」プロジェクトを行っている。高梁市も参加してはどうか</p>
3	6	19 番 難 波 英 夫	<p>1 家族経営でも成り立つ農業振興策について</p> <p>(1) 本市の農村集落と住環境を守るため、専業、兼業を問わず成り立つ農業経営を推進するよう求める</p> <p>(2) 農業の基幹作物であるコメの生産コストと販売価格との差額を補てんする「不足払い制度」の創設と、農業の多面的機能を正当に評価した所得補償の実施を国に要請すること</p> <p>(3) 本市において独自の農産物価格保障制度の創設を図ること</p> <p>2 T P P 交渉からの撤退について</p> <p>(1) 農業はもちろん、食品の安全、雇用、保険などの国益が守れない T P P 交渉からの撤退を国に要請すること</p> <p>3 私学である高梁日新高校に対する助成について</p> <p>(1) 本市の私学に対する基本的な考えを問う</p> <p>(2) 補助及び助成など支援の強化を図ること</p> <p>4 高梁市子ども医療費給付に関する条例の拡充について</p> <p>(1) 条例第 2 条において、「子ども」とは満 18 歳に達した日以後の最初の 3 月 31 日までにある者となっている。これを高校卒業までに改正するよう求める</p> <p>5 高梁市道路維持管理作業報奨金について</p> <p>(1) 市道、農道及び林道の維持管理作業は市が責任を持って行うのが基本ではないか</p> <p>(2) 道路維持管理作業報奨金の引き上げで地域コミュニティの円滑化を図ること</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	9	9 番 大 森 一 生	<p>1 近藤市政の 2 期目における高梁市の未来予想図を聞く</p> <p>(1) 急激な人口減少、特に生産年齢人口の減少と少子・高齢化が予想される中、高梁駅周辺における中心市街地で総額 50 億円を超える大型公共投資が予定、計画されている。10 年、20 年先の高梁市の将来をどのように描いていくのか。その未来予想図を聞く</p> <p>(2) 総合計画において、平成 31 年の目標人口を 3 万 3,000 人としているが、これを達成するためにどのような具体策を講じようとしているのか</p> <p>(3) その大型公共投資を将来の生産性、町の持続性につなげていくには、高梁市の産業構造を知ることが重要である。そのために産業連関表を作成し、構造分析、経済波及効果分析をする必要があるのではないか</p> <p>2 新庁舎建設と駅周辺整備について</p> <p>(1) 高梁市は J R 伯備線が大正 15 年に開業して以来、東西に分断された状況にあるが、新庁舎建設と高梁バスセンターに建設が予定されている新中央図書館、駅前周辺整備によりどのような賑わいを創出しようとしているのか</p> <p>(2) 駅東側整備を含めて駅周辺整備が行われれば、車や人の動線が変わってくる。どのようなことを想定し、安全対策を考えているのか</p> <p>3 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の利活用と地域振興について</p> <p>(1) 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の利活用において、その機会費用（逸失利益）と比較優位性による地域振興策として、長期的、戦略的視点で考えていくべきではないか</p>
5	7	7 番 宮 田 好 夫	<p>1 産廃処分場計画について</p> <p>(1) 県と業者との事前協議が進み最終段階にあると考えられる中で、下流の住民で結成している佐与谷川を守る会では反対署名活動や司法に訴えるための準備を進めている。市に対して、さらなる取り組みの強化と反対運動へ支援を求める</p> <p>2 まちづくり事業の分類、整理について</p> <p>(1) 合併して 10 年を迎える中、各地域で行われているまちづくり事業の見直しが検討され、来年度から新しい形で実施されると聞いている。次の 2 点について変更点を問う</p> <p>① 地域振興交付金</p> <p>② 旧高梁市の各地域単位のまちづくり推進事業</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	7	7 番 宮 田 好 夫	<p>3 介護保険制度について</p> <p>(1) 社会保障制度改革国民会議の報告書が取りまとめられ、介護保険のサービスが大きく変わろうとしているが、市はどのように対応するのか</p> <p>① 要支援者に対するサービスについて</p> <p>② 特別養護老人ホームの入所基準変更について</p> <p>(2) 制度改正による不安や疑問が、市民にもサービス提供者にも出てくると考えられる。制度の周知や在宅介護の環境づくりを行うべきではないか</p>
6	2	6 番 内 田 大 治	<p>1 防災行政無線について</p> <p>(1) 議会の一般質問での答弁において、災害発生時の情報伝達手段としては、ケーブルテレビを基幹とし、携帯電話のメールで補完する。現在使用している防災行政無線は、使用不可能となったときに廃止するとしているが、これらについてどのように取り組みをしているのか</p> <p>(2) 災害時の情報伝達手段として、音声による告知は有効性が高いと考えるが、どのように認識しているのか</p> <p>(3) 地域における防災行政無線の果たす役割は災害情報の伝達だけでなく、地域の行政情報の伝達に大きく役立っている。防災行政無線の廃止については再検討すべきではないか</p> <p>(4) 防災行政無線にかわる伝達手段が確保できるまでは、修繕等を含めて維持すべきではないか</p> <p>2 県道新見川上線の大雨による通行止めについて</p> <p>(1) 県道新見川上線は時間雨量が35ミリになると、川合、田原間が通行止めとなる。趣旨は十分理解できるが、市としてはどのように認識しているのか</p> <p>(2) 地元自治体が関与できない状況の中で、一方的に通行止めが実施されることに問題はないか</p> <p>(3) 救急車両が通行できない状況を、どのように認識しているのか</p> <p>(4) 市として迂回路についての対策は、どのように取り組みをしているのか</p>
7	8	18 番 妹 尾 直 言	<p>1 川上中学校移転について</p> <p>(1) 地域との協議はどのように整ったのか</p> <p>(2) 移転先の旧城南高校川上校地の整備について</p> <p>① 校舎のづくり等が高等学校仕様になっているのを中学校仕様にする計画はどのようにになっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	8	18 番 妹 尾 直 言	<p>② 特にグラウンドが以前に比べ使い勝手が悪く思われるが、どのように考えているのか</p> <p>③ 川上中学校からの要望は十分聞いているのか</p> <p>2 川上中学校跡地の整備について</p> <p>(1) 川上地域のコミュニティの中心的な場所として十分な整備が望まれる。どのような施策を考えているのか</p>
8	10	3 番 石 田 芳 生	<p>1 局地的豪雨による被害対策と今後の防災対策について</p> <p>(1) 平成 25 年 8 月 5 日の被害状況と対応はどうであったか</p> <p>(2) 本庁、西部土木事務所、地域局の連携はどうであったか</p> <p>(3) 市道の規制等、市民にリアルタイムで公表することが必要ではないか</p> <p>2 学力向上に対する取り組みについて</p> <p>(1) 学力向上を目指した教育行政重点施策の進捗はどうか</p> <p>(2) 学校では個々の児童・生徒の習熟度に応じた指導として、どのような取り組みがなされているか</p> <p>(3) 個別指導に力を入れている学力向上に向けたボランティア活動に対する支援が必要ではないか</p> <p>3 空き家対策について</p> <p>(1) 住宅が比較的多い地域での空き家の把握の状況はどうか</p> <p>(2) 市民生活に危険を及ぼす恐れのある空き家屋については、行政による撤去も視野に入れた取り組みをすべきではないか</p> <p>(3) 更地にすることで地権者にもメリットがあるような施策を講ずることができないか</p> <p>(4) 空き家問題解消に関しては、相続関係、定住対策、防犯、防災、環境、租税等さまざまな分野に及ぶが、窓口を一つにできないか</p>
9	3	15 番 宮 田 公 人	<p>1 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の今後について</p> <p>(1) 維持管理だけで月に 100 万円程度の費用がかかるのならば、その費用分を運営費補助として再度指定管理者の公募を行ってはどうか</p> <p>(2) 再公募が不調に終わった場合、施設売却を検討するなど段階的に対応すべきではないか</p> <p>2 学校林の現状と収益金の管理、運用について</p> <p>(1) 高梁市の学校林の設置状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 学校林の管理、運営はどうなっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	3	15 番 宮 田 公 人	<p>(3) 学校林から収益金が生じた場合、その財産管理方法はどうかあるべきか。また、「高梁市学校林管理規程」に基づき合議体である教育委員会はどのような協議、指導を行うのか</p> <p>3 入札制度と監理課の役割について</p> <p>(1) 監理課が新設され、物品調達等入札参加資格審査、登録制度がスタートして3年が経過するが、現状をどのように把握し評価しているのか</p> <p>(2) 資格審査において、商業登記事項、営業内容及び営業実績のチェックは確実に行われているのか</p> <p>(3) 「市内業者を優先する」と行政側は説明するが、見方を変えたと、この制度は物品購入にかかわる業者と行政の事務負担を増大させ、なおかつ公平性という名の下で、それぞれの物品、役務を提供する市内業者に過当競争を強いるだけの制度ではないのか</p> <p>4 高梁駅バリアフリー化事業と駅周辺整備について</p> <p>(1) 8月27日に開催された全員協議会では、図書館の建設位置について高梁バスセンターと文化センター駐車場が両論併記になったにもかかわらず、説明責任を果たすに足る財政面や施設整備にかかわる明快なメリット、デメリットの比較検討結果さえ示されていない。この点について、総合的に再度検討すべきではないか</p> <p>(2) 高梁市は移動図書館サービスを提供しているが、中央図書館と周辺図書館、周辺地域において、どのようにこのサービスを拡充し新図書館に組み込んでいくのか</p> <p>(3) 吉備国際大学の図書館と連携して、相互の図書を利用可能にすべきではないか</p> <p>(4) 社会実験として、現在の高梁バスセンター内の車道を営業時間終了後に駐車スペースとして活用できないか</p> <p>(5) 庭瀬駅のように無人自動改札を1つ設けることにより、一般利用者の利便性を確保すべきではないか</p> <p>(6) 都市部においては、全てを交通の結節点である駅に集中させることにより市民全体の交通利便性が向上するかもしれない。しかし、定期バスにさえ乗車できない環境にある高梁市の周辺地域の現状を考えると、求められる移動手段はデマンドタクシーなどのドア・ツー・ドアの公共交通手段であり、駅周辺整備が周辺地域住民の交通利便性の向上につながりにくいのではないかと。また、バリアフリー化にかかわる今回の財政負担の増加やランニングコストについてどう考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	3	15 番 宮 田 公 人	(7) 図書館建設のための議論が、高梁駅バリアフリー化事業推進により失われる機能を補完する複合施設建設のための議論にすりかえられているように感ずる。本来の図書館の性格、文化ゾーンという地理的な位置付け、財政負担を考えた場合、図書館は文化センター駐車場に建設すべきではないか
10	5	2 番 石 部 誠	<p>1 小・中学校へのエアコン設置について</p> <p>(1) 小・中学校の全教室にエアコンの設置を順次行うことを求める</p> <p>2 地域コミュニティの発展について</p> <p>(1) 市民センター機能と公民館機能の充実を求める</p> <p>(2) 市民参加を促す支援を求める</p> <p>(3) 地域局の発展、充実を求める</p> <p>3 生活保護基準の見直しについて</p> <p>(1) 基準の見直しが市民生活に与える影響を問う</p> <p>(2) 生活保護世帯に与える影響を問う</p> <p>(3) 生活保護世帯の就業支援、援助の強化を求める</p> <p>4 駅周辺整備について</p> <p>(1) 都市グランドデザインの内容がはっきりしていない。総合計画や都市ビジョン（街なか編）との関連はどのようになっているのか</p> <p>(2) 駅舎、駅前の整備については、あまりにも予算が肥大化している。計画をバリアフリー化に限定した内容に戻すべきではないか</p> <p>(3) 図書館建設は、高梁中央図書館としての機能や将来ビジョンを明確にして進めるべきではないか</p>